

# 運用管理に関する 研究開発への期待と課題

平成24年7月12日  
NTT 高野

# 本日のパネリスト



高橋 真

ソフトバンクBB

2003年： ソフトバンクBB株式会社入社。ADSL網やFTTH網の構築に従事

2007年： ソフトバンクテレコム出向、モバイル向け伝送路構築作業の システム化自動化、自動化を担当

2011年： ソフトバンクモバイル出向、東北大地震から移動基地局の配備、 緊急時の業務フロー整備、システム化等を担当



川村 聖一

BIGLOBE

2001年:日本電気株式会社入社

2006年:NECビッグロブ株式会社設立(出向)

現在の主な仕事はバックボーン設計、SDN開発、IPv6 evangelism

2012年7月にJANOG4代目会長就任

ISOC-JP(再立ち上げ中)副プログラム委員長、他いろいろ



土屋 師子生

シスコシステムズ

1997～2000年:リコーテクノシステムズ

2000年:シスコシステムズ



益子 直樹

NTTコム

2002年、NTTコミュニケーションズ株式会社入社。広域イーサネットワークeVLANにてL2SW網の設計、開発、運用に従事。

2006年より、OCN(バックボーン、対外ピアリング)のネットワーク運用業務に従事。



榎 一光

アイフォース

1972年 日本電信電話公社入社

2000年7月富士通株式会社入社

2010年1月オフィス榎を設立、インフォメーションタスクフォース株式会社顧問就任。

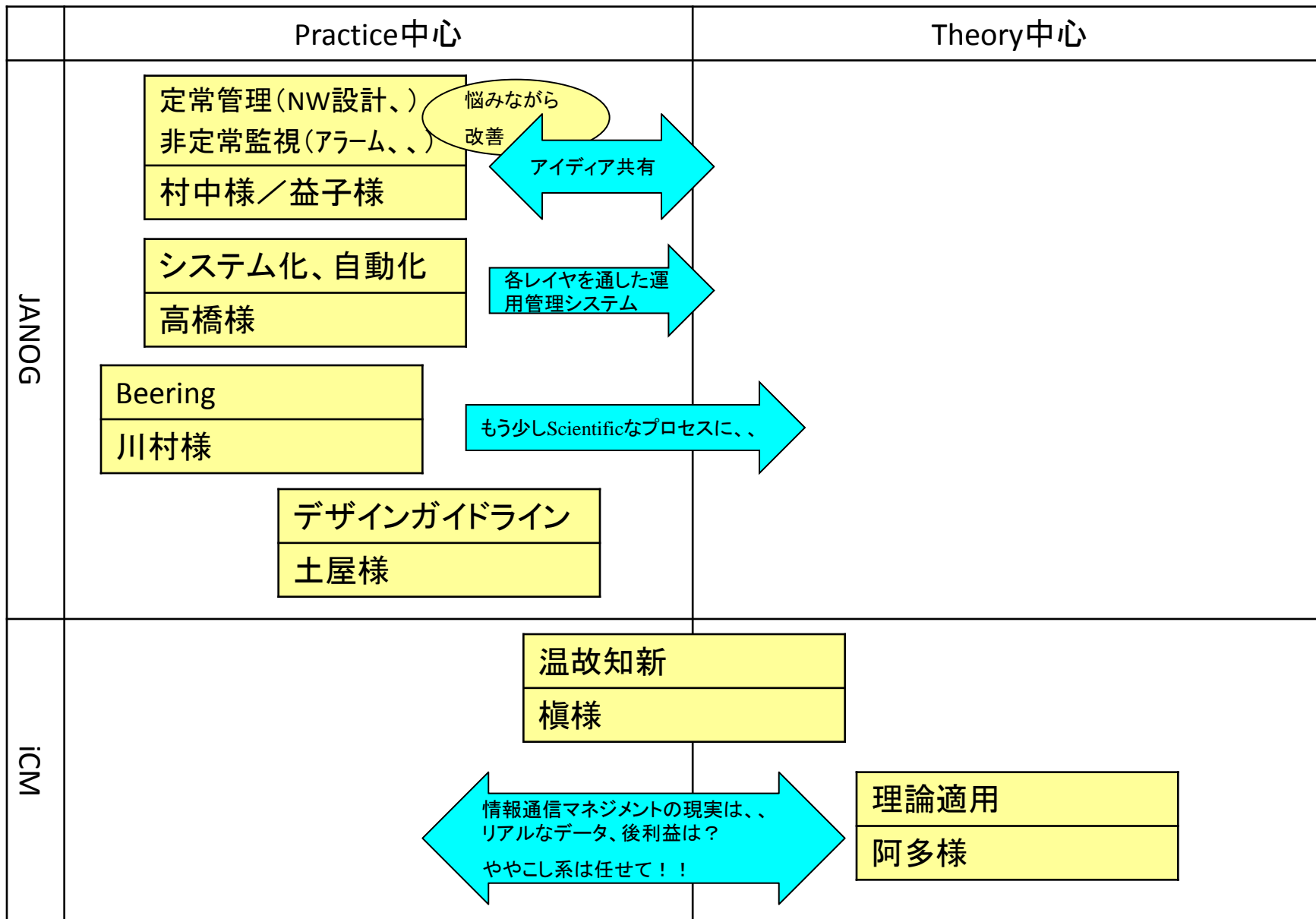


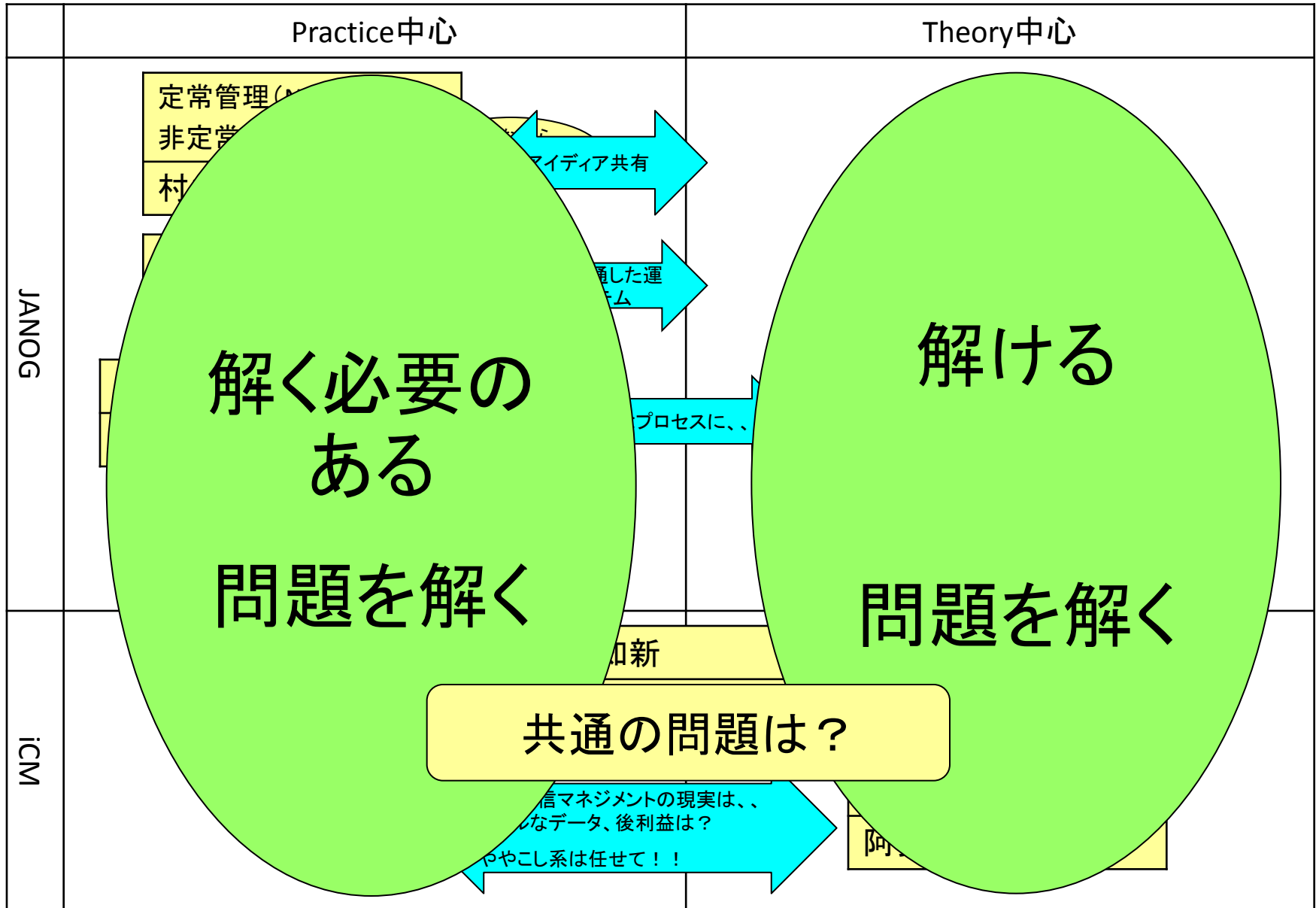
阿多 信吾

大阪市立大学

大阪市立大学

# より賢い運用管理を目指して





- **お互いがお互いをちゃんと理解してる？**
- **Practice中心な観点から**
  - **日常の業務の観点から、解決すべき課題は？及びその中で、Theory中心な人と組んで解決できそうなこと、したいこと。**
- **Theory中心な観点から**
  - **日常の業務の観点から、解決すべき課題は？及びその中で、Practice中心な人と組んで解決できそうなこと、したいこと。**
- **JANOGとiCMでの協働ってどう？**

- 大学の研究者でも工学系の方は研究結果の実用面での評価について、企業からの研究資金の提供や起業などを通じたマネタイジングなどの形でモチベーションが与えられるケースも多くなっているのではないかと思いますのですが運用管理分野ではこのような動きはあまりないのでしょうか。
- 実務で運用管理をやっている皆様方に改善でなく、新たな技術の導入／改革が必要と感じられている分野はあるか、ある場合どういったところかという点についてお聞きしたいです。
- JANOGのなかで情報交換が積極的になされていることがよくわかりました。情報の透明化活動を一步進めて、テレコムで言うところの標準化的な活動のアプローチの必要性を教えてください。
- JANOGの皆様でよく聞く代表的な悩みは何かありますか？
- ICM研究会は企業に所属する研究開発者の方々も数多く参加されていると思いますが、企業の現場との距離や接点でどのような苦労をされているか、工夫をされているかお聞きしたいと思います。
- 運用管理にオープンソース、自作ツール、Excelなどをお使いのようですが、運用管理製品を使わない理由は何でしょうか？機能が自社運用に合わない、柔軟性が低い、コストが高い？

アカデミアが「リアルな問題(解いたときのインパクトが大きい問題)」に取り組むにはどうしたらよいか。学生を卒業させるために、リアリティよりも学生が扱える問題であることが優先されがちかもしれない。企業研究所では、解くべき問題の吟味にかなりの時間を割いて、解いたときのインパクトの大きい問題を選ぶようにするが、大学でそのコストを払えるか。米国では、学生を長期のインターンに送り込んでこの問題を解決することもあるらしい。このような事例は参考になるか？という感じの質問をよろしくお願いいたします。